

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中平区誌刊行とそれを活用した地域づくり
事業主体 (連絡先)	飯田市鼎中平区 区長 松宮正敏
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,405,000円 (うち支援金: 1,762,000円)

事業内容

(1) 中平区誌の刊行
 500部、B5版372ページ、平成31年3月刊行
 背景: 平成18年 準備委員会発足。区誌の編纂に着手
 平成19年 編纂委員会立ち上げ
 地区内外から多くの資料提供を受け、29年にまとめの段階に入った。わかりやすく、読んでもらえる区誌の刊行を行った。16回の編纂委員会を開催し延べ93名が出席した。



健康ウォーク (コース提案)

(2) 区誌編纂に使った資料をもとに、教室・講座を開催

- 4月28日 鼎小学校PTA中平支部総会にて講演
「小学校の校章について」 参加者 40名
- 5月3日 中平公民館歴史ウォーク
「地区内にあった建物の話」 参加者 90名
- 6月23日 歴史講座
「中平区の成立・発展」 区役員 17名
- 10月21日 獅子舞フェス参加(伝統行事継承)約 100名
- 10月27日 歴史講座「中平の道について」区役員 17名
- 12月9日 健康セミナー
「地区内を巡るウォーキングコース提案」参加者 30名
- 12月24日～1月6日 正月行事体験 (おやすづくり・餅つき・書初め・おんべ) 延べ 約 200名

【目標・ねらい】

- ①中平を知ってもらおう
- ②中平の活動に関わってもらおう
- ③中平の将来について考えてもらおう

※自己評価【B】

【理由】
 中平に興味を持つ人は着実に増えているが、若者や移住された方の参加に課題が残っている。区民全体へ浸透するよう継続的な活動が必要。

(3) 区民が創る「かわら版」
 区誌に載っていないことを調べ、区民にお知らせした。

事業効果

- ①講座等で区誌編纂によりわかったことを説明し、中平の歴史に触れてもらい、中平のことを知る人が増えた。
- ②中平の活動に参加することにより、地域のことに関心を持つ人が増えた。
 歴史講座 (PTA・役員等) 延べ 60名、歴史探訪 (ウォーキング等) 延べ 120名、
 伝統行事継承 (獅子舞・正月行事) 延べ 500名
- ③総会、役員会などで、全員が参加できる地区行事の提案など、地区が活発になっていくための意見が多く出されるようになった。

今後の取り組み

中平を記録していく活動に多くの区民に関わってもらおうような事業を継続していく。